

2013年3月1日

会 員 各 位

臨床法学教育学会

理事長 後 藤 昭

臨床法学教育学会 第6回年次大会開催のお知らせ

標記大会を下記のとおり開催しますので、ご案内いたします。この大会は、会員でない方でも参加できますので(参加費無料)、法曹養成・臨床教育にご関心をお持ちの皆様へのお声かけも併せてお願い申し上げます。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

記

- 1 日時：2013年4月21日(日) 9:30～18:00
- 2 会場：立命館大学・朱雀キャンパス(〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1番地)
- 3 大会テーマ：「リーガル・プロフェッションの職域拡大と法科大学院教育の使命」
- 4 プログラム

(1) 部会

<前半> 9:30～11:00 (3部会並行開催)

部会1 試験制度(ペーパーテスト)と臨床教育—「予備試験ルート」に欠如しているもの— 大澤恒夫(桐蔭横浜大学)、松本恒雄(一橋大学)

部会2 法科大学院の地域貢献と臨床教育—地域適正配置の視点を踏まえて— 新井信之(香川大学)、米田憲市(鹿児島大学)

自由報告部会1 若手法曹からの発表・活動報告

司会：宮川成雄(早稲田大学)

「難民事件への取り組み」伊藤朝日太郎(弁護士)

「法科大学院での学びと弁護士業務」高坂明菜(弁護士)

「企業人としてのインハウスローヤー」竹本綾世(弁護士)

<後半> 11:10～12:40 (3部会並行開催)

部会3 法曹技能教育の新展開(臨床心理の成果の導入の試み、交渉術教育の現状) 花本広志(獨協大学)、松本克美(立命館大学)、森下哲郎(上智大学)

部会4 裁判員制度下の刑事弁護実務と臨床教育

杉田宗久(同志社大学)、神山啓史(弁護士)、四宮啓(國學院大學)

自由報告部会2 臨床教育のビデオ・エスノグラフィー

司会：米田憲市(鹿児島大学)

報告者：樫田美雄(徳島大学)、北村隆憲(東海大学)、岡裕子(関西医科大学)

<お昼休み 12:40～14:15>

*当日の昼食は、会場校での手配はありませんので、近隣の飲食店等をご利用ください。

(2) 特別講演 14:15～15:00 (大ホール (5階))

「法曹養成教育とリーガル・プロフェッション —ローヤリング・スキル教育再考—」
川村明 (弁護士・International Bar Association 前会長)

(3) 全体シンポジウム 15:00～18:00 (大ホール (5階))

「リーガル・プロフェッションの職域拡大と法科大学院教育の使命」

企画の趣旨：複雑・高度化した現代社会において、国民(市民)、企業、政府・非政府組織等が法曹に求める役割とはどのようなものか。そこから逆算するとき、伝統的な狭い法曹像とは異なる新しい法曹像が浮かび上がってくる。法科大学院は、この新しい法曹像に即した人材の養成を行うべきではないか。このような視点から、法科大学院のあるべき教育内容と社会的使命・存在意義を論じる。

報告者：

「自治体における法科大学院修了生の任用」 泉房穂 (明石市長・弁護士・社会福祉士)

「社内弁護士の企業における役割と課題」 田中勉 (弁護士・北陸銀行)

「法科大学院修了生の新しい活動領域」 水上貴央 (弁護士・青山学院大学)

「弁護士と医師の職能の融合」 越後純子 (医師・弁護士・金沢大学)

パネリスト：上記4名の報告者のほか、

川村明 (本大会特別講演者)、早川信夫 (NHK 解説委員)

コーディネーター：浜辺陽一郎 (弁護士・青山学院大学)

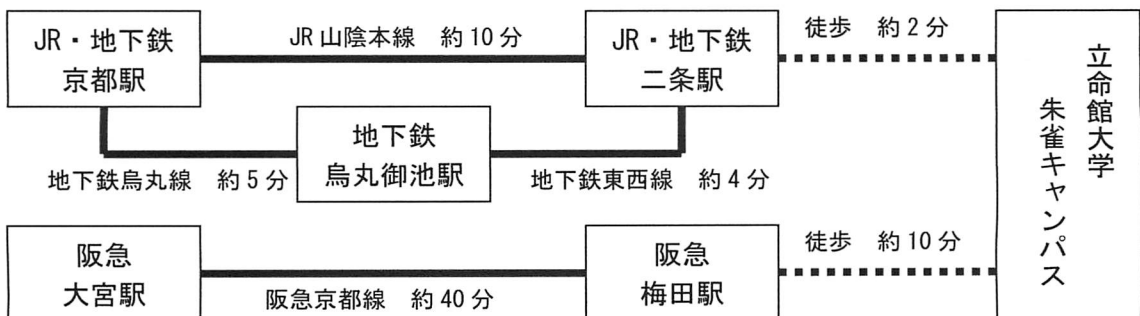
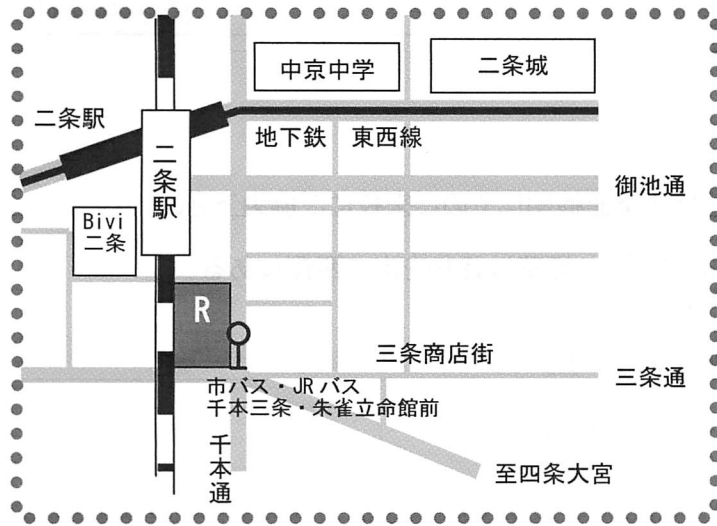
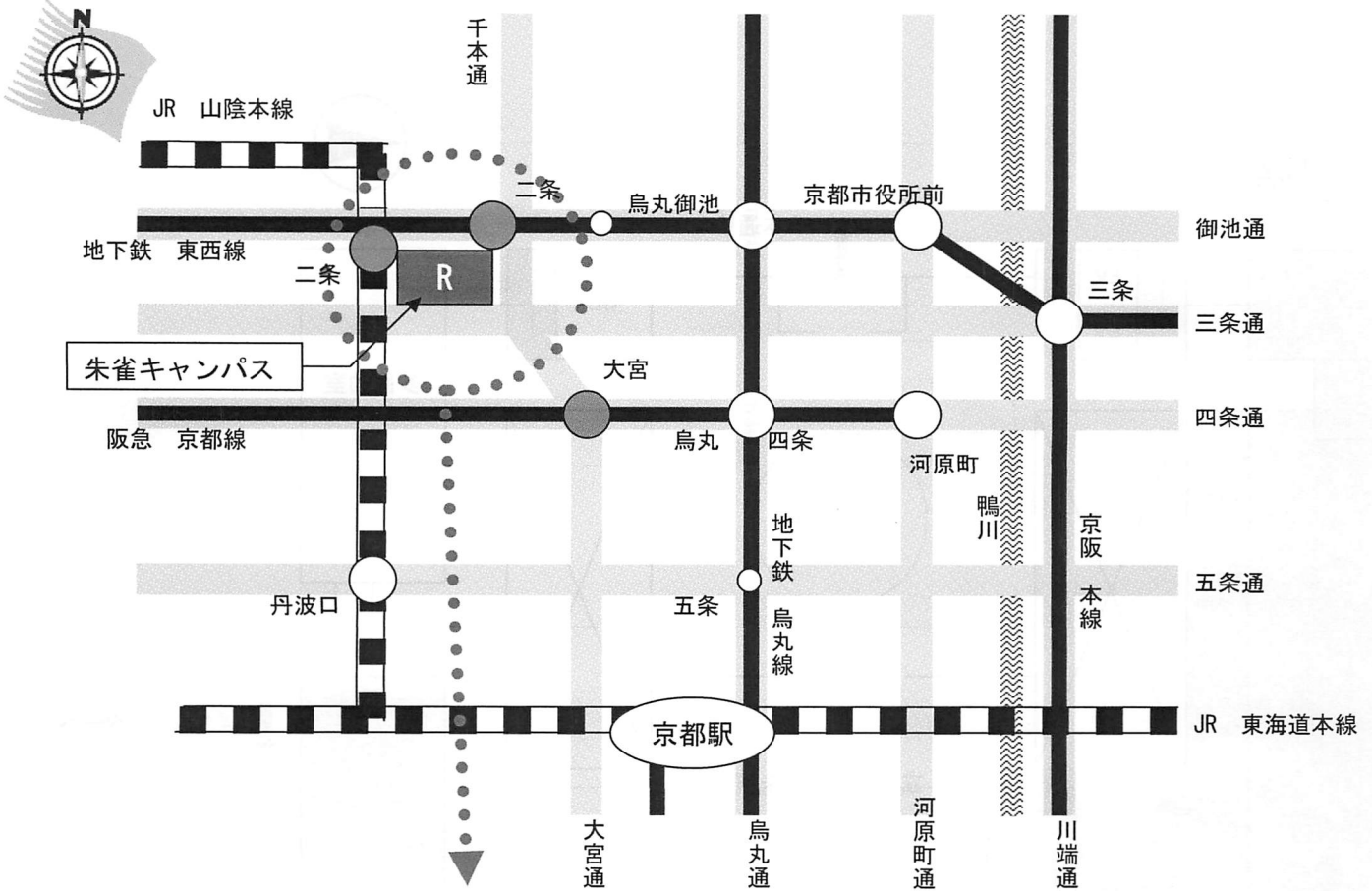
懇親会 18:30～20:00

会場：京野菜レストラン「TAWAWA」 (同校舎7階) 会費：4000円

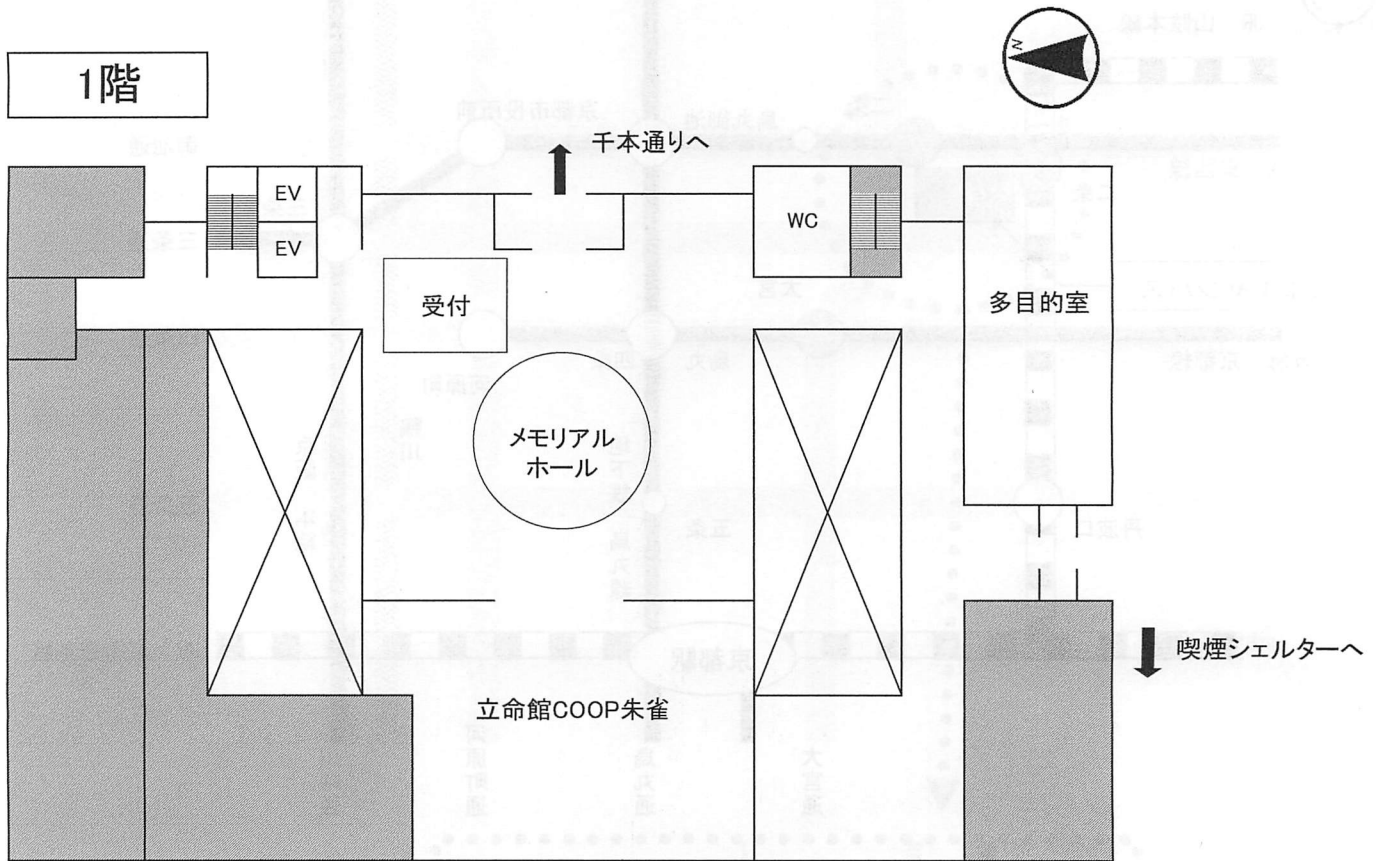
なお、午前中の教室については当日ご案内させていただきます。

準備の都合上、本大会へのご出欠、懇親会への参加お申込みについては、同封のハガキに必要事項をご記入のうえ、4月10日までにご返信くださいますようお願いいたします。

立命館大学朱雀キャンパス アクセスマップ



朱雀キャンパス案内図



- 駐輪・駐車場はございません。公共交通機関にてのご来校にご協力下さい。
- キャンパス内は禁煙となっております。お煙草は建物を出て西側にある喫煙シェルターにてお願いします。
- 斜線部分は大学院エリアとなっております。

(立命館COOP朱雀は日曜休日となっております。)

